

1965	(昭和40)年	58歳	『子どもの図書館』(岩波書店)として、かつら文庫7年間の記録を発表
1961	(昭和36)年	54歳	カナダ、ヨーロッパへ(ファージョンを訪問など)
1960	(昭和35)年	53歳	児童文学についての約5年間のグループ研究のまとめを『子どもと文学』(瀬田貞二、鈴木晋一、松井直、いぬいとみこ、渡辺茂男との共著 中央公論社)として発表
1958	(昭和33)年	51歳	荻窪の自宅に「かつら文庫」を開く
1957	(昭和32)年	50歳	村岡花子、土屋滋子らと共に、家庭文庫研究会を始める(1964)
1954	(昭和29)年	47歳	ロックフェラー財団の奨学金を受け、研究員として1年間、アメリカ、カナダ、ヨーロッパの図書館や出版社を訪問。
1951	(昭和26)年	44歳	『ノンちゃん雲に乗る』で第1回芸術選奨文部大臣賞受賞
1950	(昭和25)年	43歳	岩波書店に入社(1954)、嘱託となり、「岩波少年文庫」「岩波の子どもの本」の企画編集に携わる。宮城と東京を行き来する。
1945	(昭和20)年	38歳	宮城県鶯沢にて農業・酪農をはじめる
1942	(昭和17)年	35歳	『プー横丁にたった家』(A・A・ミルン/作 石井桃子/訳 岩波書店)を刊行
1934	(昭和9)年	27歳	新潮社にて「日本少国民文庫」の編集に携わる(1936)
1933	(昭和8)年	26歳	犬飼健の家で、『プー横丁にたった家』の原書に出会う
1929	(昭和4)年	22歳	文藝春秋社に入社(1933)
1928	(昭和3)年	21歳	日本女子大学校英文学部卒業
1923	(大正12)年	16歳	埼玉県立浦和高等学校卒業
1907	(明治40)年	0歳	3月10日・埼玉県浦和に生まれる

石井桃子 年譜

1967 (昭和42)年	60歳	カナダ、アメリカ、ヨーロッパへ
1972 (昭和47)年	65歳	イギリスへ(湖水地方、サトクリフ訪問など)
1974 (昭和49)年	67歳	土屋児童文庫、松の実文庫、かつら文庫を中心とした、「東京子ども図書館」が財団法人となる
1976 (昭和51)年	69歳	環太平洋児童文学会議に参加のため、カナダへ
1979 (昭和54)年	72歳	オズボーン・コレクション訪問のため、カナダへ
1981 (昭和56)年	74歳	『幼ものがたり』(福音館書店)、『児童文学の旅』(岩波書店)を刊行
1984 (昭和59)年	77歳	第1回子ども文庫功労賞を受賞
1993 (平成5)年	86歳	日本芸術院賞を受賞
1997 (平成9)年	90歳	日本芸術院会員になる
2003 (平成15)年	96歳	岩波書店)を刊行 A・A・ミルンの自伝『今からでは遅すぎる』(石井桃子/訳)
2008 (平成20)年	101歳	2007年度朝日賞受賞・4月2日逝去・享年101歳